

～いきいきと みちかな人と ずっと暮らすために・・・～

資料2 射水市終活支援ノート「思いを伝えるノート」 を作成しました

医療や介護が必要となっても本人の思いに沿った自分らしい暮らしを選択していただけるよう 射水市終活支援ノート「思いを伝えるノート」を作成しました。(2,500冊)
元気なうちから、もしもの時にどうしたいかを考え、周囲と話し合うきっかけとなるよう、希望する市民にノートを配布します。

1 特徴

このノートは、射水市民病院と協働で作成し、医療的視点を踏まえたものとなっています。本人の思いに沿った対応となるよう病気の告知や人生の最終段階の医療等についての項目を充実し、本人や家族の選択の参考となるよう、人生の最終段階の医療を解説するページを設けています。

2 内容 (A4版、フルカラー18ページ)

(1) 地域包括ケアシステム、相談窓口等の紹介ページ

(2) 自己記入ページ

- ・基本情報や健康状態
- ・もしもの時は（医療や介護等の希望）
- ・葬儀等や財産管理に関すること

(3) 企業広告

官民協働事業で製作

(4) 協定提携事業者

株式会社ホープ(福岡県福岡市)

3 配布方法

(1) 出前講座で配布

地域の団体を対象に、市（地域福祉課、射水市民病院）や地域包括支援センターが出前講座を開催し、ノートを配布する。

(2) 窓口で配布

市役所（地域福祉課）、地域包括支援センター（市内5か所）の窓口でノートの活用について説明し、配布する。